

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 株式会社セレス 上場取引所 東
コード番号 3696 URL https://ceres-inc.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都木 聡
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 管理本部長 (氏名) 小林 保裕 (TEL) 03-6455-3756
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)
(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	22,268	10.1	4,913	168.3	1,943	35.9	1,823	19.6	2,391	182.8
2024年12月期第3四半期	20,218	16.9	1,831	60.4	1,429	94.2	1,524	107.5	845	660.4

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 2,681百万円 (293.7%) 2024年12月期第3四半期 681百万円 (306.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	207.50	—
2024年12月期第3四半期	73.71	—

(注) 1. 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2025年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. EBITDA＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費（持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算）＋減損損失

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	37,336	13,881	35.3
2024年12月期	32,976	12,721	33.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 13,195百万円 2024年12月期 11,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2025年12月期(予想)期末配当金につきましては、「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」（2025年9月19日公表）で発表いたしました内容から変更はございません。
2024年12月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 20円00銭
2025年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 20円00銭

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)
(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,400	2.5	6,050	92.3	2,850	27.9	3,250	21.4	3,350	126.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 (社名) Apollo Capital 2号投資事業有限責任組合

除外 1社 (社名) 株式会社ゆめみ

DINETTE株式会社

株式会社インス (旧：株式会社エムコーポレーション)

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期 3 Q	12,116,500株	2024年12月期	12,084,600株
2025年12月期 3 Q	577,104株	2024年12月期	574,181株
2025年12月期 3 Q	11,525,058株	2024年12月期 3 Q	11,474,296株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、地政学的リスクの長期化や資源・エネルギー価格の変動に加え、米国の政策動向が世界経済に及ぼす影響等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間においては、売上面ではモバイルサービス事業において、当社グループが運営するポイントサイトであるモッピーが会員数の増加等により引き続き好調に推移いたしました。また、化粧品・ヘルスケア商品等を取り扱っているD2Cは主力商品の苦戦により減収となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、オンラインファクタリングサービスを提供している連結子会社ラボルの順調な成長があった一方、ブロックチェーン関連事業を行う連結子会社マーキュリーで暗号資産価格の下落により自己保有暗号資産にかかる評価損を計上したことにより減収となりました。

利益面では、D2Cでの減益があったものの、モッピーにおける粗利拡大やDXでの稼働率上昇により、モバイルサービス事業において大幅増益となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、連結子会社マーキュリーの暗号資産評価損計上に伴い、損失幅が拡大しております。持分法適用関連会社であるビットバンクは暗号資産市場の低迷により、前期の持分法による投資利益に対して、当期は持分法による投資損失となっております。なお、第2四半期連結会計期間において、当社が保有する連結子会社ゆめみの全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外し、これに伴う関係会社株式売却益を特別利益に計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は22,268百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は1,943百万円（同35.9%増）、経常利益は1,823百万円（同19.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,391百万円（同182.8%増）となりました。

また、当社グループの経営指標として重視しているEBITDAは4,913百万円（前年同期比168.3%増）となりました。なお、当社グループのEBITDAは税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費（持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算）＋減損損失で算出しております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトであるモッピーや自社アフィリエイトプログラムAD. TRACK等から構成される「ポイント」、化粧品・健康食品等の企画・製造・販売を行う「D2C」、及び連結子会社ゆめみが手掛ける企業のDX化支援サービス「DX」で構成されております。

「ポイント」においては、引き続きサイトやアプリの継続的な改良等を行うとともに、各種キャンペーン等の施策を実施してまいりました。また、AD. TRACKとの連携を進めたことにより利益率も改善しており、増収増益となりました。なお、モッピーの会員数は堅調に推移し、当第3四半期連結会計期間末の会員数は626万人（前年同期比12.7%増）となり、アプリの累計ダウンロード数も647万件（同22.0%増）に達しております。さらに、当第3四半期連結会計期間にポイントサイト「Point Income」を事業譲受したことにより、国内ポイントメディア市場におけるシェアの更なる拡大を図っております。

「D2C」においては、主力商品である機能性インソール「Pitsole（ピットソール）」の販売が苦戦したことにより減収減益となりました。

「DX」においては、連結除外の影響があった一方、受注状況の改善による稼働率上昇により、減収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は21,136百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は3,734百万円（同22.3%増）となりました。

フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、ブロックチェーン関連、オンラインファクタリングサービス、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。

ブロックチェーン関連事業においては、暗号資産価格の下落により、自己保有暗号資産にかかる評価損の計上に加えてマーキュリーが運営するステーキングサービス「CoinTradeStake（コイントレードステーク）」も減収となり、損失幅が拡大いたしました。また、オンラインファクタリングサービスにおいては、フリーランス向けAIファクタリングサービス「labo1（ラボル）」や、カード決済サービス「labo1（ラボル）カード払い」が好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は1,143百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント損失は740百万円（前年同期は735百万円のセグメント損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,360百万円増加し、37,336百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,191百万円増加したこと、のれんが1,390百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ3,199百万円増加し、23,454百万円となりました。これは主に未払法人税等が1,023百万円増加したこと、ポイント引当金が2,531百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,160百万円増加し、13,881百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,700百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が137百万円増加したこと、ゆめみの連結除外等により非支配株主持分が886百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期の連結業績予想につきましては、「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」（2025年5月30日公表）で発表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,574,595	12,765,746
受取手形、売掛金及び契約資産	3,901,187	3,532,595
営業投資有価証券	2,527,342	2,585,411
商品及び製品	1,855,396	1,784,124
仕掛品	129,932	-
原材料及び貯蔵品	66,136	72,267
その他	3,977,344	4,633,934
貸倒引当金	△181,751	△356,723
流動資産合計	23,850,185	25,017,355
固定資産		
有形固定資産	779,760	666,979
無形固定資産		
のれん	1,331,991	2,722,492
その他	155,822	271,317
無形固定資産合計	1,487,814	2,993,810
投資その他の資産		
関係会社株式	3,600,870	3,441,184
その他	3,274,168	5,334,748
貸倒引当金	△16,788	△117,907
投資その他の資産合計	6,858,250	8,658,025
固定資産合計	9,125,824	12,318,815
資産合計	32,976,010	37,336,171
負債の部		
流動負債		
買掛金	865,983	804,106
短期借入金	4,428,700	4,374,000
1年内返済予定の長期借入金	1,995,590	2,080,324
未払法人税等	737,745	1,761,388
ポイント引当金	4,339,317	6,870,410
賞与引当金	-	60,400
役員賞与引当金	65,000	-
その他	4,419,688	4,066,895
流動負債合計	16,852,024	20,017,526
固定負債		
長期借入金	3,090,915	3,094,380
資産除去債務	278,938	280,573
その他	33,024	61,867
固定負債合計	3,402,878	3,436,821
負債合計	20,254,903	23,454,347

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,125,062	2,158,892
資本剰余金	3,266,570	3,441,791
利益剰余金	5,972,175	7,672,991
自己株式	△307,896	△307,958
株主資本合計	11,055,912	12,965,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,364	229,405
その他の包括利益累計額合計	92,364	229,405
非支配株主持分	1,572,828	686,701
純資産合計	12,721,106	13,881,823
負債純資産合計	32,976,010	37,336,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	20,218,266	22,268,955
売上原価	10,491,686	12,405,518
売上総利益	9,726,579	9,863,436
販売費及び一般管理費	8,296,586	7,919,713
営業利益	1,429,993	1,943,723
営業外収益		
受取利息	1,078	15,147
持分法による投資利益	95,409	—
投資事業組合運用益	34,688	8,272
その他	12,272	12,312
営業外収益合計	143,450	35,732
営業外費用		
支払利息	33,123	48,685
持分法による投資損失	—	86,928
その他	16,304	20,422
営業外費用合計	49,428	156,037
経常利益	1,524,015	1,823,418
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2,760,882
新株予約権戻入益	755	—
特別利益合計	755	2,760,882
特別損失		
持分変動損失	72,248	68,197
本社移転費用	14,221	—
事業整理損	—	18,886
特別損失合計	86,469	87,083
税金等調整前四半期純利益	1,438,300	4,497,216
法人税、住民税及び事業税	637,809	2,238,179
法人税等調整額	△63,865	△285,270
法人税等合計	573,943	1,952,909
四半期純利益	864,357	2,544,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,597	152,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	845,759	2,391,440

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	864,357	2,544,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182,798	141,435
持分法適用会社に対する持分相当額	△498	△4,395
その他の包括利益合計	△183,296	137,040
四半期包括利益	681,061	2,681,347
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	662,463	2,528,480
非支配株主に係る四半期包括利益	18,597	152,866

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、Apollo Capital 2号投資事業有限責任組合の設立、DINETTE株式会社及び株式会社エムコーポレーション（現：株式会社イシス）の株式を取得したことに伴い、新たに連結の範囲に含めております。

なお、Apollo Capital 2号投資事業有限責任組合は当社の特定子会社に該当しております。

第2四半期連結会計期間において、当社が保有する株式会社ゆめみの全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

（会計方針の変更に関する注記）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,152,837	1,065,428	20,218,266	—	20,218,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,811	—	9,811	△9,811	—
計	19,162,648	1,065,428	20,228,077	△9,811	20,218,266
セグメント利益又は損失 (△)	3,052,364	△735,025	2,317,339	△887,345	1,429,993

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△887,345千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,127,086	1,141,868	22,268,955	—	22,268,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,419	1,230	10,650	△10,650	—
計	21,136,506	1,143,098	22,279,605	△10,650	22,268,955
セグメント利益又は損失 (△)	3,734,062	△740,999	2,993,062	△1,049,339	1,943,723

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,049,339千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、DINETTE及びエムコーポレーション(現:イシス)の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、「モバイルサービス事業」セグメントにおいて、620百万円であります。なお、のれんは、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

当第3四半期連結会計期間に「モバイルサービス事業」セグメントにおいて、ポイントサイト「Point Income」及びアフィリエイトプログラム「AD-LEAP」の事業譲受により、のれんが1,245百万円増加しております。なお、のれんは、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

第2四半期連結会計期間において、当社が保有するゆめみの全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。当該事象によるのれんの減少額は、「モバイルサービス事業」セグメントにおいて、302百万円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	182,252千円	154,314千円
のれんの償却額	154,218千円	174,315千円